

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375700891
事業所名	グループホームヒラソルとよはま

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）  認知症カフェの継続で、地域の顔見知りの人との再会もあり、利用者の楽しみになっている。地域高齢者の見守り等のお世話も地域交流の一つとなっている。祭り参加等の地域行事でも交流を継続している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）  年6回の運営推進会議を開催している。家族参加多く、地域代表や駐在警察官、町内会長を交えて、ホームの困りごとや課題を話し合っている。また、その時々に必要な勉強会等も開催している。今年度は防災訓練を実施した。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）  行政担当者の運営推進会議参加が叶い、ホームの実情を伝えている。地域ケア会議への参加で地域包括ケアを協働し、運営や支援に関わる困難事例の相談等で、共に認知症高齢者介護を考え、適切に指導を仰いでいる。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）  家族会は運営推進会議と同日に行っている。運営推進会議・家族会共に参加が多く、ホーム運営を共に考える良好な体制がうかがえる。希望に応じた個人面談の開催もあり、聴き取った意見や提案は、職員周知で運営に反映させている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	